

平成 18 年 9 月 2 6 日

経済的支援に関する検討会における質問事項に関する提出資料

(社) 被害者支援都民センター

大久保 恵美子

カウンセリングが必要な事例に関する調査（平成15年～平成17年）

（社）被害者支援都民センター

総受理ケース数 2,138件

カウンセリングを希望しているケース数 199件

<資料1>

被害別ケース数（図1）

殺人	36（168）
強盗	9（87）
性的被害	84（598）
暴行・傷害	20（486）
DV	6（127）
ストーカー	3（194）
交通死亡事故	34（157）
交通事故	7（321）
計	199（2,138）

支援センターでのカウンセリングを希望する理由別ケース数（図2）

- ・経済的に継続が困難 122
- ・カウンセリングを希望しているが、適切な機関が見つからない 67
- ・カウンセリングを受けていたが二次被害を受けた 10

カウンセリング実施状況（図3）

42支援団体中39団体から回答

- ・支援センター職員のみが実施 5団体
- ・支援センター職員と有料の専門家が実施 17団体
- ・有料の専門家が実施 8団体
- ・実施していない 9団体

支援センターによるカウンセリング費用の負担状況（回数）（図4）

- ・負担しない（被害者が全額負担） 3団体
- ・初回のみ無料 4団体
- ・2回まで無料 3団体
- ・3回まで無料 4団体
- ・5回まで無料 2団体
- ・6回まで無料 1団体
- ・回数制限なし 5団体

支援センター職員がカウンセリングを実施している8団体については、費用が発生しないため算入していない

<資料2>

カウンセリングが必要な事例（一覧表）

<資料3>

カウンセリングが必要とされる被害者の実例

図 1

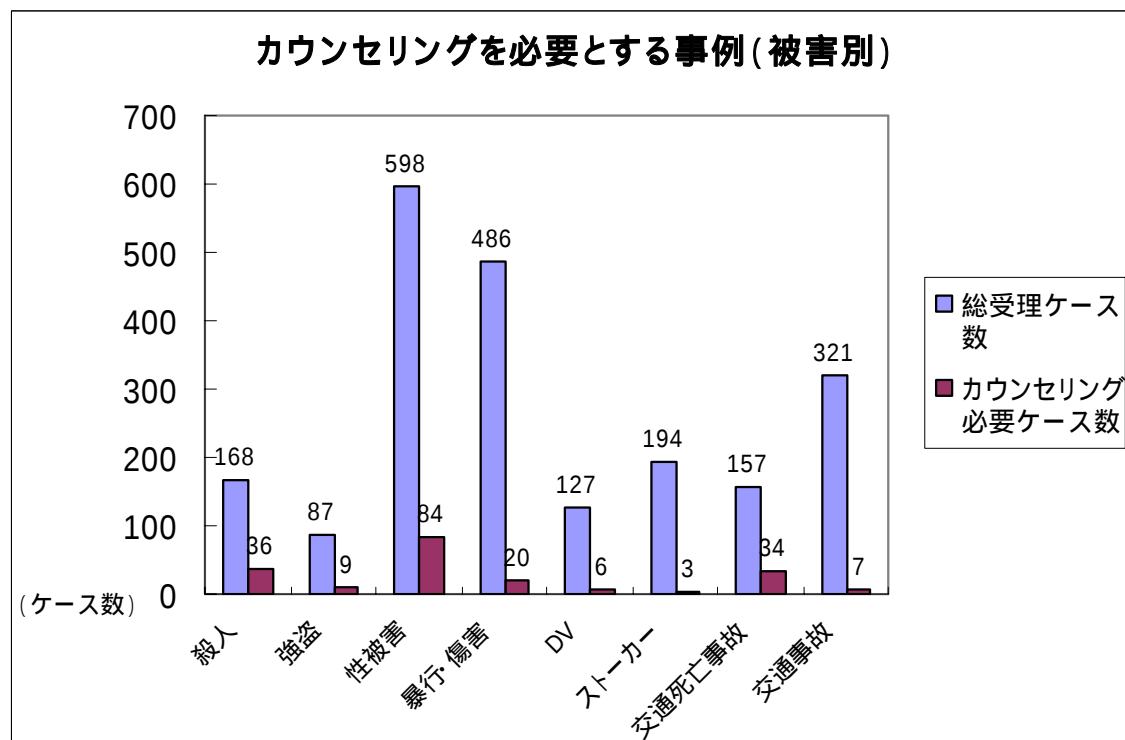


図 2

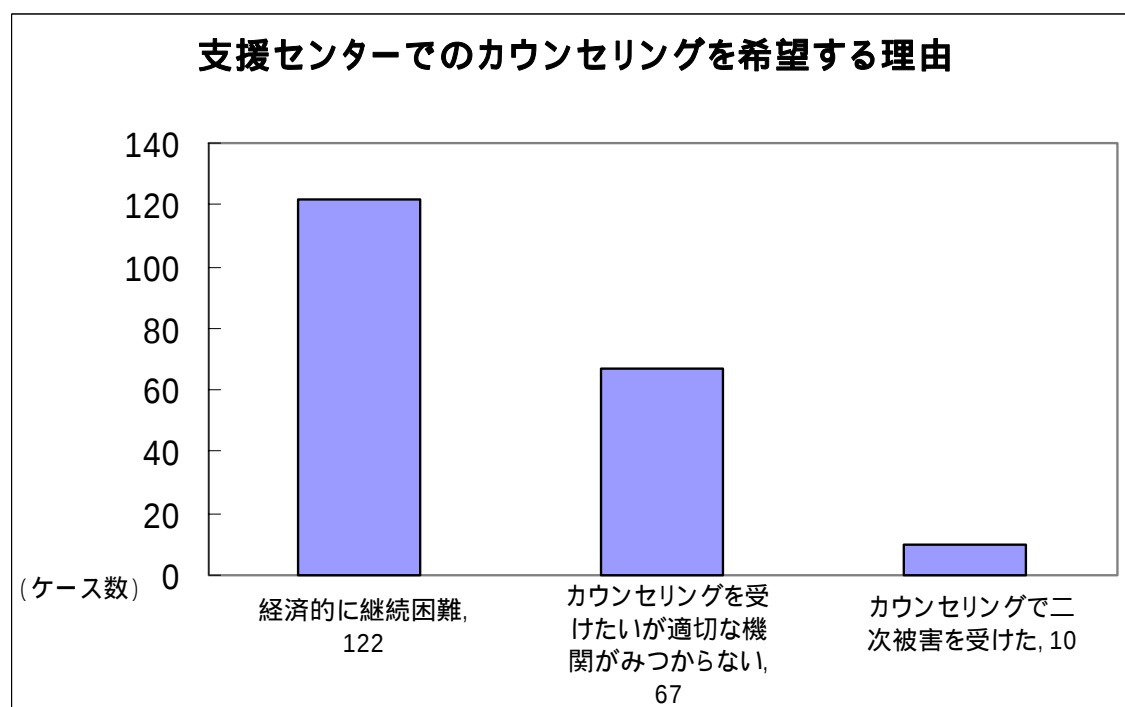


図 3

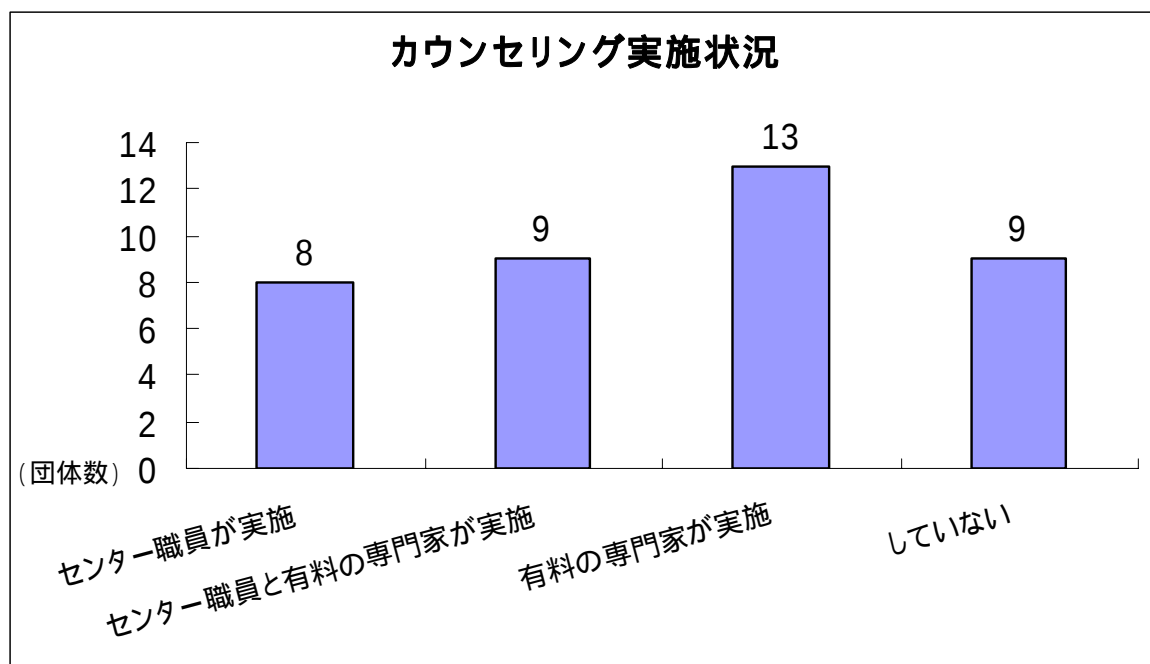
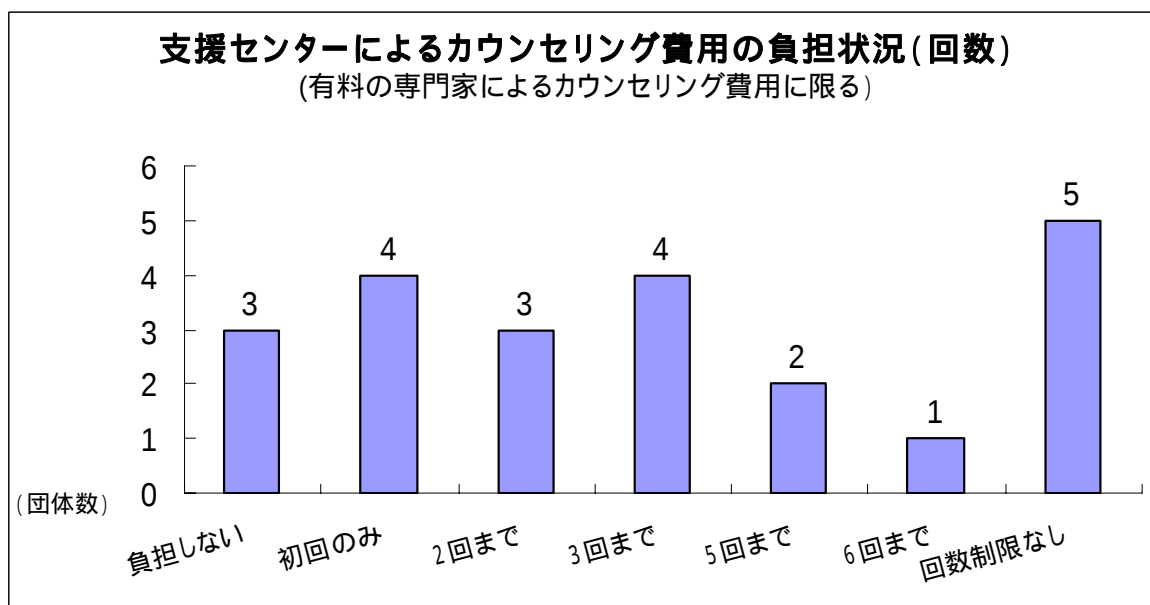


図 4



注) 支援センター職員によるカウンセリングの回数は、費用が発生しないため算入していない